日本選手権における参加制度改定について（別紙）

要項項目	変更後	変更前
競技方法	① 男女とも2人チーム戦・3人チーム戦・6人チーム戦の3種目は、1ゲーム毎にレーン移動してそれぞれ前半3ゲーム、後半3ゲームの競技を行い、その合計得点により各種目（男・女別）の順位を決定する。 ② マスターズ戦は、男女ともチーム戦3種目（18ゲーム）における個人得点の上位より男子26名・女子20名を選出し、1ゲーム毎にレーン移動して、11ゲームの競技を行い、11ゲーム時点の得点で順位順にレーンを配当し、さらに1ゲームの競技を行い、12ゲームの総得点によって順位を決定し、男女の優勝者を当該年度の日本選手権者とする。 **③ 補欠選手（および選手交代によりチーム戦から外れた正選手）は、チーム戦に出場しないシフトにおいても主管連盟が指定する「個人記録BOX」にて投球し、18ゲームの個人記録を確保できるものとする。**	① 男女とも2人チーム戦・3人チーム戦・6人チーム戦の3種目は、1ゲーム毎にレーン移動してそれぞれ前半3ゲーム、後半3ゲームの競技を行い、その合計得点により各種目（男・女別）の順位を決定する。 ② マスターズ戦は、男女ともチーム戦3種目（18ゲーム）における個人得点の上位より男子26名・女子20名を選出し、1ゲーム毎にレーン移動して、11ゲームの競技を行い、11ゲーム時点の得点で順位順にレーンを配当し、さらに1ゲームの競技を行い、12ゲームの総得点によって順位を決定し、男女の優勝者を当該年度の全日本選手権者とする。
競技規程	JB選手権競技会規程並びにJBボウリング競技規則を適用する。**なお、病気等の事故による競技者の交代については、選手権競技会規程第 405 条の特例措置を適用する（特例措置については注意事項を参照のこと）。**	JB選手権競技会規程並びにJBボウリング競技規則を適用する。
参加資格	当該年度のJB登録会員（個人正会員、実業団会員、学生連合会員、高等学校登録会員、ジュニア会員）で各加盟団体より選出された者、**並びに全国高等学校体育連盟ボウリング専門部加盟連合会より「高体連ドリームチーム」として選考・推薦された者**に限る。（個人普通会員は個人正会員に登録変更すれば参加できる）	当該年度のJB登録会員（個人正会員、実業団会員、学生連合会員、高等学校登録会員、ジュニア会員）で各加盟団体より選出された者に限る。（個人普通会員は個人正会員に登録変更すれば参加できる）
参加割当 チーム編成	① 各加盟団体の参加割当は、男子18名、女子18名を最大とする。 **② 各加盟団体は、まず同一都道府県の選手による単独6人チームを可能な限り編成し、6名に満たない残余選手について、同一地区内の複数都道府県（2都道府県以上、都道府県別人数の上限・下限なし）による「地区連合チーム（6人編成）」として参加させることができる（例外はJBの事前承認事項と**	参加割当は、各加盟団体とも男子18名、女子18名を最大とする。 6名未満の人数での申し込みも認めるが、メイクチームの組分けは主管連盟が行う。 補欠選手登録は、6名につき1名とする。

要項項目	変更後	変更前
	する)。地区連合チームの編成は地区単位で調整し、所定の「地区連合チーム編成届」により確定する。(地区の区分については注意事項を参照のこと) ③ 上記の他、全国高等学校体育連盟ボウリング専門部加盟連合会が選考・推薦する「高体連ドリームチーム」の参加を男女各1チーム(原則各6名編成)認める。なお、諸事情により人数が6名に満たない場合(最低3名以上)は、編成人数に応じた種目およびメイクチーム枠等での出場とし、他の加盟団体選手との横断的な2人・3人チーム編成は行わない。 ④ 上記以外の6名未満の人数での申し込みも認めるが、メイクチームの組分けは主管連盟が行う。 ⑤ 補欠選手登録は、登録6人チーム(単独都道府県チーム、地区連合チーム、高体連ドリームチーム)につき1名とする。補欠選手は1つの6人チームにのみ所属し、複数チームへの重複登録は認めない。 ⑥ 2人チーム戦・3人チーム戦は、同一の登録6人チーム(および当該チームの補欠1名)の範囲内で編成するものとし、異なる6人チームに所属する選手を横断的に組み合わせることは認めない。	
褒　賞	① 団体総合(男・女別) 優　勝～第3位 ※優勝団体には、文部科学大臣賞状及び文部科学大臣杯を授与する。 ② 各種目(男・女別) 優　勝～第8位 ※ただし各種目においてメイクチームは入賞対象外とする。なお、「地区連合チーム(同一地区連合内で編成された複数都道府県混成の2人・3人チームを含む)」および「高体連ドリームチーム」は各種目の入賞対象とする。 ③ 個人総合(男・女別　3種目の個人総得点) 第1位～第3位 ④ マスターズ戦(男・女別) 優　勝～第8位　※男・女優勝者には、選手権者認定証を授与する。 ⑤ 個人ハイゲーム賞、個人ハイシリーズ賞(男・女別) ⑥ マスターズ戦出場賞　マスターズ戦出場者全員 ⑦ 加盟団体表彰　各種目優勝者(チーム)が所属する加盟団体	① 団体総合(男・女別) 優　勝～第3位 ※優勝団体には、文部科学大臣賞状及び文部科学大臣杯を授与する。 ② 各種目(男・女別) 優　勝～第8位 ※ただし各種目においてメイクチームは入賞対象外 ③ 個人総合(男・女別　3種目の個人総得点) 第1位～第3位 ④ マスターズ戦(男・女別) 優　勝～第8位　※男・女優勝者には、選手権者認定証を授与する。 ⑤ 個人ハイゲーム賞、個人ハイシリーズ賞(男・女別) ⑥ マスターズ戦出場賞　マスターズ戦出場者全員 ⑦ 加盟団体表彰　各種目優勝者(チーム)が所属する加盟団体 ※団体総合の順位を決定するポイントは、各種目とも次のとおりとする。また、複数チーム参加している団体は、6人チームのAチーム及びBチーム登録

要項項目	変更後	変更前
	※チーム戦(2人・3人・6人チーム戦)において、複数都道府県混成による地区連合チームおよび高体連ドリームチームが優勝した場合は、加盟団体表彰の対象外とする。なお、地区連合チーム内で編成された２人・3 人チームであっても、当該種目においてチーム戦の得点として採用された記録の選手全員が同一都道府県所属の場合は、加盟団体表彰の対象とする。 ※マスターズ戦は、加盟団体から選出された選手が優勝した場合は、加盟団体表彰の対象とする。ただし、高体連ドリームチーム所属選手は加盟団体表彰の対象外とする。 【団体総合ポイント】 ・団体総合の順位を決定するポイントは各種目とも次のとおりとする：優勝＝15 点、準優勝＝12 点、第３位＝10 点、第４位＝８点、第５位＝６点、第６位＝４点、第７位＝２点、第８位＝１点(同ポイントの場合は該当連盟入賞者の合計得点の多い方を上位とする)。 ・各都道府県連盟の参加申込書において「Aチーム」または「Bチーム」に登録された選手(正選手・補欠選手を問わない。単独編成・地区連合参加を問わず加盟団体につき男女別に正選手最大12名、補欠最大2名の計14名を上限とする)のみをポイント対象有資格者とし、「Cチーム」登録選手および「高体連ドリームチーム」選手はすべての種目においてポイント対象外とする。 ・チーム戦(2人・3人・6人チーム戦)は、当該種目においてチーム戦の得点として採用された記録の選手全員が「同一都道府県所属」であり、かつ全員が「AチームまたはBチーム登録者」である場合のみ団体総合ポイントの対象とする。 ・マスターズ戦は、入賞した選手本人が所属加盟団体の「AチームまたはBチーム登録者(正選手・補欠とも)」である場合、団体総合ポイントの対象とする。 ・ポイント対象外の選手またはチームが入賞した場合でも、下位順位へのポイントの繰り下げは行わない。 ※個人ハイゲーム賞・個人ハイシリーズ賞は、チーム戦3種目(個人記録BOXでの投球記録を含む)を対象とする。	選手のみポイント対象とし、Cチーム登録選手はポイント対象外とする。なお、Cチーム登録選手が入賞した場合、ポイントの繰り下げは行わない。 優勝＝15 点　準優勝＝12 点　第3位＝10 点　第4位＝8 点　第5位＝6 点　第6位＝4 点　第７位＝2 点　第８位＝1 点 ※同ポイントの場合は、該当連盟入賞者の合計得点の多い方を上位とする。 ※個人ハイゲーム賞・個人ハイシリーズ賞は、チーム戦3種目を対象とする。

要項項目	変更後	変更前
施設使用料	【正 選 手】 1名 15,000 円　学生連合・高等学校登録・ジュニア会員は 13,500 円 【補欠選手】 1名 ○○,○○○円　学生連合・高等学校登録・ジュニア会員は ○○,○○○円 【マスターズ戦】 1名 7,800 円	1名　15,000 円　学生連合・ジュニア会員は 13,500 円 マスターズ戦　1名　7,800 円
申込方法	申込方法：別紙所定の申込用紙に必要事項を記入し、各加盟団体（高体連ドリームチームは全国高体連ボウリング専門部加盟連合会）で取りまとめ、下記申込先へ費用を添えて申し込むこと。また、地区連合チームを編成する場合は、地区内で調整の上、代表加盟団体が別紙「地区連合チーム編成届」（補欠選手を含む）をあわせて提出すること（地区連合チームの補欠選手は、所属加盟団体の参加申込書の補欠欄および地区連合チーム編成届の双方に記載すること）。各書類は Excel データのまま下記メールアドレスへ送信すること。	申込方法：別紙所定の申込用紙に必要事項を記入し、各加盟団体で取りまとめ、下記申込先へ費用を添えて申し込むこと。各書類は Excel データのまま下記メールアドレスへ送信すること。
注意事項	⑩ 補欠選手は登録チーム最初のシフトの競技受付前までにボール登録を行い、補欠登録確認書を記入の上、競技受付に提出すること。地区連合チームに編成された補欠選手は、当該地区連合チームの正選手（所属都道府県や申込書上の A・B・C 登録を問わず）の誰とでも交代できる。また、病気等の事故によりゲーム途中で補欠選手と交代する場合は、審判員への届出および許可を条件として、競技規則第405条の特例として以下のとおり処理する。 （ア）チーム戦の得点は、第5フレーム以前の交代の場合は補欠選手が個人記録BOXで投球した同一ゲームの記録を採用する。第6フレーム以降の場合は交代前の正選手の記録（未投球はすべて0本処理）を採用する。 （イ）投球不能となった正選手の当該ゲームの個人記録は、発生フレームにかかわらず投球した記録を維持し、未投球をすべて0本として計算する。 （ウ）当該ゲームでは補欠選手に競技BOXへのレーン移動を求めず、個人記録BOXで当該ゲームを完了させ、次ゲームから競技BOX（チーム戦）へ	⑩ 補欠選手は登録チーム最初のシフトの競技受付前までにボール登録を行い、補欠登録確認書を記入の上、競技受付に提出すること。 ⑪ 今大会のシフト分け及びレーン配当は、全て抽選にて決定する。指定された時間内に団体の代表者がレーン抽選を行うこと。時間内に抽選をしてないチーム及びメイクチームについては主管連盟が代行で抽選する。

要項項目	変更後	変更前
	参加させる（個人記録BOXがすでに次ゲームへ進行していた場合は、そのゲームも個人記録BOXで完了させる）。 ⑪ 地区連合チームの編成における「地区」の区分は、原則として JB の全国 9 地区（北海道・東北・関東・北信越・東海・近畿・中国・四国・九州）とする。ただし、北海道地区は複数都道府県編成ができないため、本大会の地区連合チーム編成においては「北海道地区および東北地区」を同一地区とみなす。 ⑫ 地区連合チーム（および複数都道府県混成編成となる2人・3人チーム）においては、各選手が所属する都道府県連盟ユニフォームを着用していれば、チーム内で異なるユニフォームの着用を認める。また、高体連ドリームチームにおいては、各学校ユニフォームまたは所属都道府県連盟ユニフォームを着用していれば、チーム内で異なるユニフォームの着用を認める（統一ユニフォームの着用も可能とする）。 ⑬ 今大会のシフト分け及びレーン配当は、全て抽選にて決定する。指定された時間内に団体の代表者がレーン抽選を行うこと。時間内に抽選をしてないチーム、メイクチーム及び個人記録BOXについては主管連盟が代行で抽選する。なお、補欠選手は原則として所属する6人チームと同一シフトとする。また、個人記録BOXの人数に端数が生じる場合や適正なBOX人数を維持するため、主管連盟の判断により個人記録BOXの選手とメイクチームの選手を同一BOX内に混成して配置することがある。	

※この変更は 2026 年度（第 64 回大会）より適用します。